

企画展 (7月23日(木)～9月27日(日)開催)

# 療養所の戦後

～箱根療養所でくらしした戦傷病者の労苦～

## 開催趣旨

戦傷病者の中でも、脊髄を損傷したために下半身麻痺となり車椅子で生活することになった人々がいました。箱根療養所はそうした人々のための国立の施設として、戦中に作られた療養所でした。戦後は一般の患者も受け入れる国立の施設となりましたが、昭和40(1965)年には、所内の戦傷病者の患者のための病棟(西病棟)が作られ、戦傷病者とその家族がともに暮らした療養所となりました。入所者の中には、戦中から戦後も引き続き療養を続けた戦傷病者もいました。

今回の企画展では、箱根療養所(現在の独立行政法人国立病院機構箱根病院)の協力を得て、戦中・戦後の療養所の写真をはじめ、昔の木製の箱根型車椅子、その他、かつて西病棟に残されていた慰問の品々など約100点を展示し、所内で暮らした戦傷病者とその家族の戦後の労苦を紹介します。

また、この療養所で暮らした戦傷病者の証言映像や昔の記録映像もあわせて紹介します。

この他、講演会(無料)や学芸員による展示解説等の関連イベントもごぞいます。ぜひご来館下さい。

主催： しょうけい館(戦傷病者史料館)  
協力： 独立行政法人国立病院機構箱根病院  
会期： 平成21年7月23日(木)～9月27日(日)  
会場： しょうけい館1階  
入場料： 無料  
開館時間： 10:00～17:30(入館は17:00まで)  
休館日： 毎週月曜日、9月24日(木)  
内覧会： 平成21年7月22日(水)15:00～17:00  
関連イベント： ① 講演会「箱根療養所の思い出」

独立行政法人国立病院機構箱根病院 院長 石原 傳幸氏

(日時) 8月9日(日) 13:30～14:30 (場所) 1階証言映像シアター \*入場無料

② 学芸員による展示解説

7月25日(土)、8月8日(土)、8月29日(土)、9月12日(土)

毎回14:00より 約30分程度、申込不要

## 展示構成と主な展示資料

---

### 1、療養所の歴史（戦前の療兵院、傷兵院、戦中の傷痍軍人療養所の紹介）

---



箱根型車椅子



恩賜の鶴（傷兵院の頃）

### 2、終戦と竹細工（所内で作られた竹細工等の紹介）

---



竹細工の製作



病室にて